

人間学基礎セミナーⅠ

科目ナンバリング SEM-201

【Ⅱ】 選択 2単位

井上 義和

1. 授業の概要(ねらい)

テーマは「2000年代に何が変化したか?—変化の論じ方」編。

『今どきコトバ事情』(2016)には55個の見出し語がある。いずれも「この10年ほどで話題になった」「現代日本の社会あるいは文化に関連する」コトバであるから、2000年代の何らかの変化を反映していると考えられる。55個の見出し語から、いったいどのような変化が読みとれるだろうか。この問題について、グループワークを通じて明らかにしたい。

授業では受講者を4人ずつグループに分け、グループで何らかの括りを決めて複数の見出し語を取り上げ、その横断的な読解により、関連年表をつくりながら、2000年代に何が変化したかを考えてもらう。期末レポートでは、グループ活動の成果をふまえて、各自がテーマを設定して、「2000年代に何が変化したのか?」を考える。

2. 授業の到達目標

- ・見出し語の説明文をもとに関連年表を作成できる。
- ・複数の見出し語を関連させながら社会の変化を説明できる。
- ・これらの作業をグループで協力しながらおこない、成果を発表できる。
- ・以上の作業をふまえて「2000年代に何が変化したのか」という問いに取り組み、レポート作成する。

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点 20%
- ・グループ活動 30%
- ・期末レポート 50%

4. 教科書・参考文献

教科書

井上俊・永井良和編著 今どきコトバ事情—現代社会学単語帳 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

- ・授業時間外にグループのメンバーと連絡を取り合ったり、作業を分担したりする。

6. その他履修上の注意事項

- ・受講希望者は第2回までに必ず出席し、第3回にはテキストを持参すること。進行の都合上、2回連続で無断欠席した場合は受講を認めないので注意すること。
- ・第4回(班作り)に無断欠席した場合はグループに所属できないことがある。
- ・第2回以降の欠席が5回を超えた場合、期末レポートを受理しないので注意すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 コトバの変化と社会の変化(1)—今どきコトバに注目
- 【第3回】 コトバの変化と社会の変化(2)—テキストの方法論、論理構成
- 【第4回】 班作り、関係構築、班のテーマ
- 【第5回】 班のテーマ(キーワード)と見出し語の決定、担当決め
- 【第6回】 見出し語の要約の仕方、練習(1)
- 【第7回】 見出し語の要約の仕方、練習(2)
- 【第8回】 見出し語の内容要約発表(1)
- 【第9回】 見出し語の内容要約発表(2)
- 【第10回】 関連年表作り、発表資料作成 (情報学習室など)
- 【第11回】 全体発表(1)
- 【第12回】 全体発表(2)
- 【第13回】 期末レポートについて
- 【第14回】 期末レポートの進捗
- 【第15回】 振り返り、期末レポートの返却